

【 第3回中標津町総合発展計画審議会報告 】

日時：平成22年6月10日（木）19：05～21：10

場所：中標津総合文化会館（しるべつと） 1階 会議室

出席者：17名（中標津町総合発展計画審議会委員12名、事務局5名）

<会議次第>

- 1 開会
- 2 主催者挨拶
- 3 審議会会長 開会挨拶
- 4 議題
 - (1) 第2回審議会以降の経過報告
 - (2) 基本構想事務局案の説明
 - 第1部 序論
 - ・ 第1章 計画策定にあたって
 - ・ 第2章 新たなまちづくりに向けて
 - 第2部 基本構想
 - ・ 第1章 まちの将来像
 - ・ 第2章 施策の大綱
 - (3) 今後のスケジュールについて
- 5 その他
- 6 審議会副会長 閉会挨拶
- 7 閉会

<配布資料>

- ・ 資料1 第2回審議会（3月25日）以降の経過について（P.4～5）
- ・ 資料2 第6期中標津町総合発展計画基本構想事務局案（別途掲載）
- ・ 資料3 今後のスケジュール（P.6）
- ・ その他 基本構想の構成概要版（P.7）

<会議結果報告>

- 1 開会
- 2 主催者挨拶
- 3 審議会会長 開会挨拶 小野会長



4 議題

(1) 第2回審議会以降の経過報告【事務局説明】

[資料1 \(P.4~5\)](#)

(2) 基本構想事務局案の説明【事務局説明】

[資料2 \(別途参照\)](#)

第1部 序論

- ・ 第1章 計画策定にあたって
- ・ 第2章 新たなまちづくりに向けて

第2部 基本構想

- ・ 第1章 まちの将来像
- ・ 第2章 施策の大綱



<委員から出された意見(抜粋)>

~第1部 序論 第1章 計画策定にあたって/第2章 新たなまちづくりに向けて~

- ・ 4ページ「新たなまちづくりに向けて」の「特性2」で開陽台、養老牛温泉、ゆめの森公園と、とらえ方が外回りしかない。市街地の中も意識的に含めていかなければならない。
- ・ 8ページ「動向7」に関連して、バイパスに大型店ができ、商店街が廃れてきている。これから高齢化社会を向かえ、利便性などを考えると商店街は重要となる。ポイントとしてコミュニティを主体とした商店街が必要となるのではないかと。また、大型店の役割と商店街の役割について、位置づけを明確に示すことも必要。
- ・ 14ページ「課題1」で、町内会館の老朽化も深刻であり、将来的に町を2つぐらいに区切って、会議などが出来るコミュニティホールのような施設の検討が望まれる。
- ・ 中小企業振興基本条例が施行になっているが、町、商工会、町民の役割等が基本条例に入っているため、どこかには入れてはどうか。
- ・ まちをつくっていくという発想からいくと、一番の柱は経済対策ではないか。最も力を入れなければならない課題を明確に認識し、新しい産業の指針に触れるくらいまでの意気込みがあってもいいと思う。
- ・ 15ページや35ページで地域を担う子供達と記載されているが、学校教育のなかで中標津町の歴史や人口、産業構造などを子供達に教えていない。教育の段階で地域の文化や歴史、実態を知るといったことを取り入れていくべきではないか。具体的な教育を取り入れ、子供の頃から意識を持たせるような教育が必要であると思う。

～第2部 基本構想 第1章 まちの将来像/第2章 施策の大綱～

- ・ 21ページの「循環型社会の形成」の捉え方として、地域資源を地域の業者・会社を使って地域で消費することが循環型産業だという理念を含んでもらいたい。循環型産業とは地産地消も含め地元のお金は地元で回すようにしようというのが循環型産業であって欲しい。
- ・ 29ページの商工業の振興で「空き地・空き店舗対策」とあるが、大半が民間の私有地となっており、私有地を活用するためには、地主だけではできないし、町が手を出すこともできない。官民が協力しあう形を取り込んでいくべきだと思う。
- ・ 20ページの経済・産業分野に高齢化社会に伴う福祉に関連した産業の位置付けをしてはどうか。この福祉や介護分野はこれからの時代に必要不可欠なもので、一つの産業として捉えてもよいのではないか。
- ・ 29ページの「観光の振興」で、中標津空港が丘珠便から千歳便になることで、多くの観光客が見込まれる。もっと空港を利用した活動も盛り込んでいくべきではないか。
- ・ 33ページの「消防・防災のまちづくり」で、標津川で病院と消防が分断されており、災害時の対策として、病院側に消防の分署を設置するなど検討が必要ではないかと思う。
- ・ 住みやすい町、暮らしやすい町の実現のため、働く場があることが重要だと認識している。そうしなければ人口が減少してしまう。雇用対策を序論の部分でもっと盛り込んでどうか。少し不十分に感じる。

これらの意見については、今後の計画策定の参考とし反映していくこととなる。

<質疑応答>

- Q1 . 町内会未加入者をどう取り込んでいくか、条例化などの検討も必要では？
- A1 . 各家庭の事情などを考慮すると強制することはできない。町内会加入のメリットや住民意識の低さも課題であるが、条例で縛るということは非常に難しい。機会あるごとに町内会未加入者へ啓発啓蒙しながら、加入率を高めていかなければならない。
- Q2 . 都市計画マスタープランもあるので、重複してくるものは最終的には合致させる形になるのか。
- A2 . 総合発展計画の下に都市マスがあり、この計画を尊重して都市計画マスタープランを作らなければならないので、この計画に準じた都市計画となる。

(3) 今後のスケジュールについて [資料3 \(P.6\)](#)

5 その他

6 審議会副会長 閉会挨拶 牧野副会長

7 閉会

第 6 期中標津町総合発展計画策定の経過

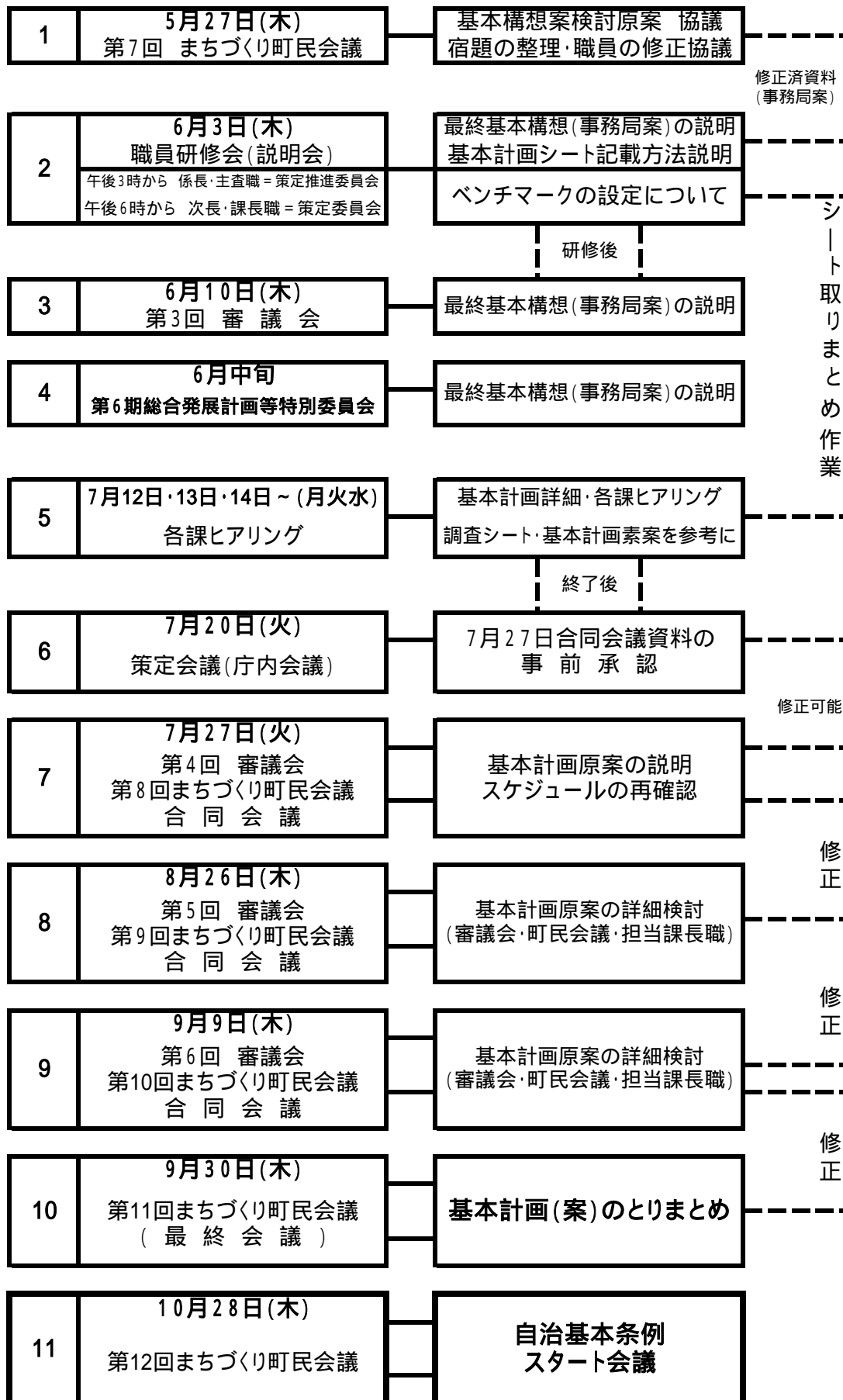
平成 21 年度			
NO	月日	計画策定の作業内容	特記事項
1	4月3日	計画策定基礎調査等委託業務のプロポーザル方式による業者選定の事前協議	中標津町プロポーザル方式業者選定実施要領第3条
2	4月20日	計画策定基礎調査等委託業務のプロポーザル方式による業者選定採用を認可(指名型)	中標津町プロポーザル方式業者選定実施要領第3条第3項
3	4月21日	第6期中標津町総合発展計画プロポーザル委員会設置要領の制定	中標津町プロポーザル方式業者選定実施要領第5条
4	4月28日	第6期中標津町総合発展計画プロポーザル委員会委員の選任通知	中標津町プロポーザル方式業者選定実施要領第5条第1項
5	5月11日	第1回 第6期中標津町総合発展計画プロポーザル委員会委員の開催(指名業者の選定)	委員長(副町長)委員(総務部長・町民生活部長・経済部長・建設水道部長・教育部長・病院事務長)
6	5月12日	指名業者3社に「指名通知書」の発送 (株)ぎょうせい・(株)ドーコン・(株)日本コンサルタントグループ	中標津町プロポーザル方式業者選定実施要領第20条第4項
7	6月1日	第2回 第6期中標津町総合発展計画プロポーザル委員会委員の開催(委託業者の選定)	「株式会社 ぎょうせい」に内定
8	6月3日	審査結果等を中標津町HPに掲載	「株式会社 ぎょうせい」
9	6月8日	計画策定基礎調査等委託仕様書の協議	「株式会社 ぎょうせい」
10	6月12日	計画策定基礎調査等委託仕様書の決定、契約担当者に当該委託業務の契約請求	中標津町プロポーザル方式業者選定実施要領第24条
11	6月18日	計画策定基礎調査等委託業務の随意契約	同日に着手届提出
12	6月23日	第1回コンサルタント打合せ～(株)ぎょうせい	委託内容の確認
13	7月6日	町長・副町長・教育長インタビューの実施	小林・清原・小出
14	7月7日	第2回コンサルタント打合せ～(株)ぎょうせい	現地調査・公的施設視察
15	7月14日	第5期達成状況調査シート配布	庁内全部局の担当者へ
16	7月～8月	中高生(7月)・町民アンケート(8月)の配布	中高生 498 部、一般町民 2,500 部
17	7月22日	中高生アンケート回収	回収率92% (458 部)
18	7月22日	第1回 特別委員会	スケジュールとアンケート調査内容を説明
19	9月1日	第5期達成状況調査シート回収	庁内全部局の担当者から
20	9月2日	町民アンケート回収	回収率35.6% (889 部)
21	9月14日	第5期達成状況調査シート、各課ヒアリング	事務局とコンサルタント(ぎょうせい)
	9月15日		
	9月16日		

22	10月22日	町民会議「公募委員」募集チラシ配布	約 8,000枚
23	10月27日	教育長インタビューの実施	小八木 新教育長
24	10月28日	第2回 特別委員会	アンケート調査結果報告・まちづくり町民会議の設置・庁内組織の設置、について説明
25	11月13日	町民会議「公募委員」募集締切	公募委員 7名
26	11月27日	第1回 まちづくり町民会議	委嘱状交付・自己紹介・会議ルール・スケジュール確認・計画策定の概要説明
27	12月18日	第1回 発展計画『審議会』	委嘱状交付・自己紹介・会議ルール・スケジュール確認・計画策定の概要説明
28		第2回 まちづくり町民会議	アンケート調査結果報告・発展計画の歴史・グループワーク「理想の町」
29	1月27日	第3回 まちづくり町民会議	第6期計画将来人口の推計・グループワーク「まちの目指す姿」・キャッチコピー他
30	2月5日	第3回 特別委員会	経過報告・アンケート追加資料報告・まちづくり町民会議と審議会委員構成の報告
31	2月24日	第4回 まちづくり町民会議	第6期計画将来人口の課題・グループワーク「まちの目指す姿」・他
32	3月18日	第5回 まちづくり町民会議	現計画(第5期)点検評価の結果報告・グループワーク「まちの目指す姿」結果発表・来年度のスケジュールについて・他
33	3月25日	第2回 発展計画『審議会』	経過報告・第5期総合発展計画の点検評価について

平成22年度

NO	月日	計画策定の作業内容	特記事項
34	4月5日	第1回 第6期中標津町総合発展計画プロポーザル委員会委員の開催(前年度委託の評価と本年度委託随意契約の決定)	委員長(副町長)委員(総務部長・町民生活部長・経済部長・建設水道部長・教育部長・病院事務長)
35	4月6日	審査結果等を中標津町HPに掲載	「株式会社 ぎょうせい」
36	4月9日	計画策定基礎調査等委託仕様書の協議	「株式会社 ぎょうせい」
37	4月15日	第4回 特別委員会	経過報告・第5期総合発展計画の点検評価について
38	4月16日	計画策定基礎調査等委託業務の随意契約	「株式会社 ぎょうせい」同日に着手届提出
39	4月22日	第6回 まちづくり町民会議	基本構想(案)の説明・グループ討議「分野別重点課題の検討」について
40	5月7日	第5回 特別委員会	経過報告・基本構想骨子案・キャッチコピー・将来人口2,5万人の施策について
41	5月27日	第7回 まちづくり町民会議	基本構想(修正案)の説明・グループ討議「分野別重点課題の検討」について
42	6月10日	第3回 発展計画『審議会』	経過報告・基本構想(事務局案)の説明今後のスケジュールについて
43	未定	第6回 特別委員会	経過報告・基本構想(事務局案)の説明今後のスケジュールについて
44			
45			

第6期中標津町総合発展計画スケジュール表 (H22・6・1 現在)



第6期中標津町総合発展計画「空とみどりの交流拠点・中標津」の構成

これからのまちづくりに向けて

まちの特性

- 特性1** 都市機能が集積する広域的拠点性のあるまち
- 特性2** 日本有数の酪農をはじめ、商業集積を誇る産業・交流が活発なまち
- 特性3** 豊かな自然環境と緑の中に街が輝く美しい景観を有するまち
- 特性4** 保健・医療・福祉環境の充実に取り組むまち
- 特性5** 文化・芸術活動、スポーツ活動が盛んなまち
- 特性6** 地域への愛着が強く、町民主体によるパートナーシップ活動が展開されるまち

まちを取り巻く社会・経済動向

- 動向1** 住民の主体的参画の時代
- 動向2** 安全・安心が求められる時代
- 動向3** 地球環境保全、自然との共生の時代
- 動向4** こころの豊かさが重視される時代
- 動向5** 国際化・高度情報化の時代
- 動向6** 人口減少・高齢化の時代
- 動向7** 地域産業再生の時代
- 動向8** 地方分権と広域化の時代

まちづくりへの思い【アンケート調査結果概要】

- まちへの愛着度**
一般町民では、“愛着を感じている”が79.1%。
中高生では、“愛着を感じている”が68.1%。
- 今後の定住意向**
一般町民では、“住み続けたい”が77.0%。
中高生では“住み続けたい”が48.0%。
- 今後のまちづくりの特色について**
一般町民
第1位 「健康で安心して暮らせるまち」(52.4%)
第2位 「酪農や商工業など活力ある産業のまち」(36.7%)
第3位 「便利で快適に暮らせるまち」(29.5%)
中高生
第1位 「健康で安心して暮らせるまち」(35.6%)
第2位 「自然と共生する美しいまち」(35.4%)
第3位 「便利で快適に暮らせるまち」(34.1%)
- 地域活動・ボランティア活動について**
今後、地域活動等に“参加したい”人は56.6%。

対応すべき課題

- 課題1** 自立した町の行政経営と協働による町民主体の地域づくり
- 課題2** 子どもから高齢者まで健やかに暮らせる地域づくり
- 課題3** 産業構造の変化に対応した、力みなぎる地域産業の構築
- 課題4** 住みよさを未来につなぐ都市基盤の整備
- 課題5** 安全・安心の確保と環境保全を重視する住環境づくり
- 課題6** 次代を担う人づくりと地域文化の一層の向上

まちの将来像

まちづくりの基本理念

- 理念1** 「自然と暮らし」が調和した、笑顔あふれるまちづくり
- 理念2** 「中標津らしさ」を創造する、誇れるまちづくり
- 理念3** 「連携と協働」でつくる、希望あふれるまちづくり

まちの将来像

「空とみどりの交流拠点・中標津」
～あつまるまち つながるまち ひろがるまち～

将来像実現のための基本目標

- 基本目標1** 参画と協働で未来を築くまちづくり【まちづくり・行財政分野】
- 基本目標2** 健やかでやさしいまちづくり【健康・福祉分野】
- 基本目標3** 力みなぎる産業のまちづくり【経済・産業分野】
- 基本目標4** 利便性のある調和のとれたまちづくり【基盤分野】
- 基本目標5** 安全・安心で快適なまちづくり【生活環境分野】
- 基本目標6** 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり【教育・文化分野】

将来人口の目標

平成32年度 25,000人

人口減少・少子高齢社会への対応 / 中心市街地への対応 / 周辺地域への対応

土地利用の基本方針

- 市街地ゾーン
- 農業ゾーン
- 森林ゾーン
- 観光・交流ゾーン

施策の大綱

基本目標1 参画と協働で未来を築くまちづくり

- (1) 協働のまちづくりの推進
- (2) コミュニティの育成
- (3) 国際化、地域間交流の促進
- (4) 北方領土対策の推進
- (5) 人権の尊重と男女共同参画社会の形成
- (6) 計画的な行政経営の推進

基本目標2 健やかでやさしいまちづくり

- (1) 子育て支援の充実
- (2) 高齢者施策の充実
- (3) 障がい者施策の充実
- (4) 地域福祉の充実
- (5) 健康づくりの推進
- (6) 地域医療の充実
- (7) 社会保障の充実

基本目標3 力みなぎる産業のまちづくり

- (1) 農業の振興
- (2) 林業の振興
- (3) 商工業の振興
- (4) 観光の振興
- (5) 6次産業化の推進
- (6) 雇用対策の推進

基本目標4 利便性のある調和のとれたまちづくり

- (1) 計画的な土地利用の推進
- (2) 市街地整備と景観形成の推進
- (3) 道路・交通網の充実
- (4) 情報化の推進
- (5) 住宅施策の推進
- (6) 公園・緑地の整備

基本目標5 安全・安心で快適なまちづくり

- (1) 消防・防災の充実
- (2) 防犯・交通安全の充実
- (3) 消費者対策の推進
- (4) 環境保全の推進
- (5) 循環型社会の形成
- (6) 上・下水道の再整備

基本目標6 人が輝き歴史と文化を育むまちづくり

- (1) 学校教育の充実
- (2) 青少年の健全育成
- (3) 生涯学習の推進
- (4) スポーツの振興
- (5) 文化・芸術の振興